

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

- (1)有価証券の評価基準及び評価方法
償却原価法によっている。
- (2)固定資産の減価償却の方法
定率法によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券 第122回利付国債	100,000,000	0	0	100,000,000
定期預金	11,000,000	4,000,000	0	15,000,000
小 計	111,000,000	4,000,000	0	115,000,000
特定資産				
小 計	0	0	0	0
合 計	111,000,000	4,000,000	0	115,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券 第122回利付国債	100,000,000		100,000,000	
定期預金	15,000,000		15,000,000	
小 計	115,000,000	0	115,000,000	0
特定資産				
小 計	0	0	0	0
合 計	115,000,000	0	115,000,000	0

4. 固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品			
プロジェクター	294,000	288,120	5,880
パソコン	216,930	210,421	6,509
合 計	510,930	498,541	12,389